

令和5年度使用

# 教科用図書採択調査研究資料

《小・中学校特別支援学級用》

気仙沼地区教科用図書採択協議会

種目	生 活	書名	チャイルドブックこども百科 くらしとぎょうじの生活図鑑	発行者名	チャイルド本社
評価	<p><b>(1) 内容に関すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領小学部生活科の内容である12観点のうち、「基本的生活習慣」「健康・安全」「交際」「手伝い・仕事」「きまり」「金銭」「社会の仕組み」「公共施設」の8項目について、児童にとって身近な事柄を写真やイラスト、簡単な説明文で紹介されており、分かりやすく興味を持ちやすい。</li> <li>○ 児童の日常生活と照らし合わせやすい題材を扱っているため、児童にとって親しみやすい内容になっている。</li> </ul> <p><b>(2) 組織と配列に関すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家の中」「外」の生活場面ごとに内容が構成されている。「できたらいいね」の項目では、文字・数・社会生活につながる事柄が取り上げられている。</li> <li>○ 「食」「片付け」「衣服」「清潔」「社会生活のルール、マナー」などの項目ごとにまとまって構成されている。</li> <li>○ 一つの題材を見開き1ページで完結させているため、分かりやすい。</li> <li>○ 「おうちの中でできるかな」のコーナーでは「こうすれば良い」という例が分かりやすく示されている。一方、「おでかけしよう」のコーナーでは、「してはいけないこと」の例が多く示され、社会のルールやマナーについて学べるようになっている。</li> </ul> <p><b>(3) 学習と指導に関すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「基本的生活習慣」に関わる内容が、写真やイラストで分かりやすく紹介されており、何をどのように使うのか、活動の手順などが理解しやすい。</li> <li>○ 日常生活で使える実践的な内容が分かりやすい表現で取り上げられており、繰り返し見て・読んで実践に活かすことができる。</li> <li>○ 漢字にはすべてルビが付いており、低学年の児童への配慮がなされている。</li> <li>○ 「おうちの中でできるかな」では、家庭での過ごし方のみを取り上げており、基本的な生活習慣の育成を、家庭と同步調で進めるのにつなげることができる。</li> </ul> <p><b>(4) 表現と体裁等に関すること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大項目ごとに見開きページの枠の色が異なっている。見開きで小項目が構成されており、写真・イラスト・文字の分量が適切で見やすい。</li> <li>○ 表紙やページの紙質が厚くて丈夫であり、児童が扱いやすい。</li> <li>○ 語りかけるような文と説明している文がはっきりと使い分けられていて、児童に筆者の意図が伝わりやすくなっている。</li> <li>○ イラストや写真を多用し、文が少なめなので、児童が抵抗なく見ることができるようにになっている。</li> </ul> <p><b>(総評)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童にとって日常的な場面や活動について、活動手順やルール、マナーを写真・イラスト・簡単な説明文で分かりやすく学習できる図鑑となっている。</li> <li>○ 具体的な生活場面を扱うことで、児童は望ましい生活習慣を想像しやすい。さらに、自分の家庭内から生活習慣を見直すことで、基本的な生活習慣の育成につなげやすくなっている。</li> </ul>				

種目	生 活	書名	はっけんずかん しょくぶつ	発行者名	学研
<b>(1) 内容に関するこ</b>					
○児童にとって身近な生活環境や花壇で見られる草花、野菜や果物など、見たことのある植物について写真やイラストで紹介されており、児童が興味を持ちやすい。 ○とびらをめくると、植物の変化や秘密、地中内の様子などが描かれており、児童が興味をもって図鑑を読み進めることができる。 ○奥行きが感じられるイラストになっており、普段の生活で目立ちにくい野草を近くに描くことによって、児童が新しい発見をしたような感覚を味わえるようになっている。 ○植物だけでなく、昆虫や動物を小さめに描くことで、さらに季節感を味わえると共に、より多くの児童の関心に則した内容になっている。					
<b>(2) 組織と配列に関するこ</b>					
○本全体の構成として、春から秋へと季節を追って花や実を紹介しており、生活経験と合致しやすくなっている。 ○植物の成長や季節ごとの変化が分かりやすくページ内に配置されている。 ○季節を追う毎に描く場所を変えることで、幅広く多様な植物を扱っている。取り上げた場所も身近で分かりやすい。					
<b>(3) 学習と指導に関するこ</b>					
○身近な花や葉、種子について、拡大写真や絵を用いて詳しく説明しており、児童にとって新たな発見や知識へつながる可能性がある。 ○イラストのページはめくれる仕掛けがあり、児童の興味を引きつけられるようになっている。その仕掛けを使い、時間の経過を追って草花の様子を理解できるようになっている。 ○とびらの近くの吹き出しに読み手への問いかけが書かれており、とびらをめくる際に児童が予想したり、思い出したり、イメージしたりするなどの思考活動を促しやすい。					
<b>(4) 表現と体裁等に関するこ</b>					
○写真だけでなく、実写的なイラストが彩りよく鮮明に表現されている。また、一ページ分の分量も適切で、視覚的に楽しく読みやすい。 ○表紙やページの紙質が厚くて丈夫であり、めくる仕掛けのとびら部分のつくりも頑丈で、児童が扱いやすい。 ○漢字を一切使わず、平仮名と片仮名、数字のみで記述されているため、低学年から利用することができる。					
<b>(総評)</b>					
○身近な植物を取り上げており植物の色・形・名前だけでなく、成長や季節ごとの変化、地中の様子などについて、興味をもって学習できる図鑑となっている。写真やイラストが鮮明で、とびらの仕掛けもあり、楽しく読み進めることができる。 ○イラストを使った非現実的なページと写真を使った現実的なページがバランス良く配置され、児童の知的好奇心を刺激できるようになっている。					

種目	国語	書名	あっちゃんあがつく たべものあいうえお	発行者名	リーブル
	<b>(1) 内容に関すること</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な食べ物や、その名前、名前に使われているひらがなに興味を持ちやすい内容になっている。</li> <li>○言葉とともに、児童が好む食べ物が描かれ、文字や絵を見ながら声に出して読んだり、リズムのある擬音語を発音したり、歌いながら言葉遊びをしたりして楽しむことができる内容になっている。</li> <li>○描かれた食べ物や動物などは擬人化されているので、話を作って楽しむこともできる。</li> </ul>				
	<b>(2) 組織と配列に関すること</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○五十音順に配列されており、見たいページが探しやすい。</li> <li>○どの文字についても、見開きの右ページに挿絵、左ページに文字が配置され、見開きページの絵と文字の分量が見やすくて適切である。</li> <li>○見開き1ページに対して一文字だけ取り上げられ、その文字をじっくり学習することができる。</li> <li>○五十音の清音だけでなく、濁音や半濁音も扱われ、全てのひらがな表記をしっかりと学べる配列になっている。</li> </ul>				
評価	<b>(3) 学習と指導に関すること</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リズムのある言葉遊びで五十音のつく言葉が紹介されており、児童が楽しく言葉を唱えやすい。また、児童が自分なりの言葉遊びのフレーズを考えるなど、学習を広げることも可能である。</li> <li>○絵を見て知っている名前を声に出したり、声に出した音とひらがなどを結び付けて、楽しみながらひらがなの学習へとつなげることができる。</li> <li>○リズミカルに繰り返す文字を読んだり、随所に盛り込まれている擬音語を発音したりすることで、文字や音声の面白さに触れさせることができる。</li> <li>○擬人化された食べ物や動物の様子から話を作って聞かせたり、児童に作らせたりすることにより学びを広げることができる。</li> <li>○平仮名だけでなく、片仮名も並記されているので、片仮名にも興味をもたせやすい。</li> </ul>				
価値	<b>(4) 表現と体裁等に関すること</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が日常生活の中で見たことのある食べ物が、彩りよくかわいらしいイラストで描かれており興味を持ちやすい。</li> <li>○注目させたい五十音の文字は色つきの丸の中に太字で、食べ物の名前は同色の太字で表記されており、注目させやすい表現になっている。</li> <li>○表紙やページの紙の厚さが固めで、児童にとって扱いやすく丈夫である。</li> <li>○美しい色彩でページいっぱいに描かれたイラストは児童の興味をひくものである。</li> <li>○食べ物に付いている表情はバリエーションに富み、楽しげな雰囲気を醸し出している。</li> <li>○表紙の固さや本の大きさが適切で手に収まりやすい。</li> </ul>				
	<b>(総評)</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ユーモアのある楽しそうな雰囲気の挿絵が児童の興味を引きやすく、五十音の文字が順序良く見やすく配置され、言葉遊びを通して五十音の音や文字に興味を持ちやすい絵本となっている。</li> <li>○見開きで文字とおいしそうな食べ物がユーモラスに描かれている。声に出したときに楽しさを感じられるリズミカルな文と児童の興味をひくようなイラストにより、楽しさを感じながら言葉を学ぶことができる本である。</li> </ul>				

種目	図画工作	書名	5回おったら絵をかこう！ おえかきおりがみ	発行者名	朝日新聞社版
	<b>(1) 内容に関すること</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な題材が多く扱われており、児童の興味・関心を高めやすい内容になっている。</li> <li>○1枚の折り紙を折り、できた形に絵を描くなどの手を加えることで、様々な物を表すことができるような内容になっている。表したいことについて児童が発想や構想をしながら、つくりだす喜びを味わうことができる内容である。</li> <li>○1つの折り方について複数のアレンジ例が掲載されており、表し方を工夫することで何度も楽しめる内容になっている。</li> <li>○生活に身近な物、行事等に関する52種類の折り紙の作り方が掲載されている。</li> <li>○完成品にお絵かきをすることで応用させることができ、児童の興味・関心を高める内容となっている。見本がたくさん掲載されており、様々なバリエーションを楽しめるよう工夫されている。</li> </ul>				
	<b>(2) 組織と配列に関すること</b>				
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「生きもの」「食べもの・スイーツ」など、作品によって8つのテーマに分類されていて児童の興味・関心に応じて作る作品を選ぶことができるようになっている。また、季節や行事等との関連も考慮されている。</li> <li>○基本の折り方の説明や、がら・もよう、かざり・モチーフの例など、作品を作るための基本的な情報が適切に提示されており、それらを参考にすることでより豊かなバリエーションがある作品ができる。</li> </ul>				
	<b>(3) 学習と指導に関すること</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○折り紙を5回折るだけ、また、基本的な折り方の組み合わせを変えるだけで様々な形ができるので、少ない手順で多くの作品を作ることができ、児童の障害の状態や発達段階に合わせやすい内容になっている。</li> <li>○作品ごとに英語の名前や関連するクイズが掲載されていたり、章ごとの最終ページに、「○○のひみつ」というコラムが掲載されていたりなど、作品についての知識を広げ、興味・関心を高めやすい構成になっている。</li> <li>○全ての工程がイラストで書かれており文言も簡潔である。全て5つ以内の手順で完成させることができるため扱いやすい内容である。</li> <li>○本書の始めに基本の折り方が記載されており、作り方の手順はそれに応じた線の種類、折る方向は矢印で示されているため、視覚的に理解しやすいよう工夫されている。</li> <li>○実際の写真や折った後のイラストも掲載されており、制作の途中経過が分かりやすく、確認しながら作業を進めることができる。</li> </ul>				
	<b>(4) 表現と体裁等に関すること</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品ごとに見開きのページを使用し、左ページは折り方、右ページは完成形、下部にアレンジ例と、だいたい共通したレイアウトになっているので、分かりやすい。</li> <li>○折り方を分かりやすくするために、手順についての写真は2色両面の折り紙を使用しており、折る方向を矢印で示している。</li> <li>○色彩が美しく、文字の大きさや分量も適切なので見やすい。</li> <li>○かわいらしいイラストと、パステル調のページ構成が美しい。</li> </ul>				
	<b>(総評)</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1枚の折り紙を5回折るだけで様々な作品を作り上げることができるので、児童が取り組みやすく、折り紙や作品作りの楽しさを味わえるような内容になっている。</li> <li>○できた形にシールを貼ったり、絵を書き加えたりするなど、自分なりの工夫をしながら表現の幅を広げられるような内容になっている。</li> <li>○児童の生活の中で身近な題材が取り上げられ、様々なテーマの折り紙を作ったりアレンジして遊ぶことで楽しさを味わえるような内容となっている。</li> <li>○英語で書かれたタイトルを読んだり、「もの知りクイズ」を使ってクイズを出し合ったりすることで、生き物や科学、社会など他の分野への好奇心が広がるものとなっている。</li> </ul>				

種目	国語	書名	くらしに役立つ国語	発行者名	東洋館出版社
<b>(1) 内容に関すること</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○面接での自己紹介や訪問先への電話のかけ方、インタビューのしかたなど、日常生活や社会生活に必要な国語力や人との関わりを意識した内容が具体的に示されている。また、それぞれの項目において、伝え方などを練習できるように構成されており、自立や社会参加に向けての言語力を高めることができる内容になっている。</li> <li>○学校生活や家庭生活で実際に体験する内容が多く扱われており、学んだことを実際に生かそうという意識を高め、体験的な学びにつなげることができる内容になっている。</li> <li>○小学校で学習した国語の内容を、より実践的に行うための内容となっている。</li> <li>○日常生活に必要な内容が取り上げられ、どのような点に気を付けて話したり、読み書きしたりしたらよいかの要点が示されている。</li> </ul>			
<b>(2) 組織と配列に関すること</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○1つの項目の中で、基本的な事柄や身近な場面について確認や練習をした後で、より発展的な学習につなげるように構成されているので、段階的に理解を深めやすい。</li> <li>○手紙の書き方や俳句、百人一首など、季節や行事、伝統文化等との関連を考慮した内容が扱われている。</li> <li>○大きく分けて「日常生活や学校生活で必要となる内容」と、「国語の学習として言語活動を学習する内容」とで構成されている。</li> <li>○生活場面とのつながりが具体的に取り上げられ、実践に向けての発展的な取り組み例も紹介されている。</li> </ul>			
<b>(3) 学習と指導に関すること</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○メモのとり方や携帯電話、メールのマナーなど、身近な生活場面を取り扱っており、生徒が具体的なイメージをもちながら学習できる内容となっている。また、社会的なマナーや人との関わり方で気を付けるべきことなどについても学ぶことができる。</li> <li>○話合いや遠足の計画など、主体的・対話的な学びが促されるように配慮されている。</li> <li>○生徒にとって、現在の生活や今後の社会生活に必要となるであろう電話・手紙等でのやり取りやメモの取り方、話し合いの進め方、文書の書き方などの具体例が紹介され、実践する際の手順等の確認にもこの本が活用できる。</li> <li>○書いたものを読む、発表を聞き合う、話し合うなど、「読む、聞く、話す、書く」の4領域の力を高めることができる内容となっている。</li> <li>○読むことの難しそうな漢字には読み仮名が書かれており、漢字の習得が難しい生徒にも読みやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>			
<b>(4) 表現と体裁等に関すること</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料として履歴書や定期券の購入申込書など、将来生活していく上で必要になるかもしれない書類の書き方の例や、生活場面で多く目にする書類の見方などが掲載されており、実際の生活に生かすことができる。</li> <li>○具体的なイメージをもてるような挿絵や写真が配置されており、視覚的に理解しやすい。</li> <li>○文章が適切な量でまとまっており、読みやすく、内容が理解しやすい。</li> <li>○各項目に必要な挿絵、表、要点のまとめ、申込書などの例が掲載されており、生徒にとって具体的で分かりやすい。</li> <li>○表紙やページの紙質に適度なはりがあり、扱いやすい。</li> </ul>			
<b>(総評)</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常生活や学校生活で見られる場面での言語活動や表現活動に関わる内容が具体的に取り上げられており、国語的なスキルを高められるように工夫されている。</li> <li>○相手や場面に応じた適切な言葉遣いや表現のしかたなどが示されており、将来の社会参加に向けて、適切な言動についての理解を促す内容になっている。</li> <li>○比較的の理解の早い生徒の使用に適した内容となっている。</li> <li>○日常生活や学校生活に活用できる内容が多く掲載されている。活動の進め方や具体例が分かりやすく、本に書かれたことを読んだり見たりしながら、実践に活かせるよう工夫されている。</li> </ul>			

種目	数 学	書名	さわって学べる 算数図鑑	発行者名	学研
			<p><b>(1) 内容に関するここと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○量を視覚的に捉え、さらに実際に操作しながら学べる内容になっている。量感を育みながら、計算の仕組みや形の特徴を捉えられるようになっている。</li> <li>○四則計算や図形・立体について、ページ内の仕掛けをめくることで、児童生徒の思考を視覚的にサポートしながら理解させることができる内容である。</li> <li>○基本的な用語の意味についても分かりやすく解説されており、一冊を通して小学校から中学校段階まで活用することができる内容となっている。</li> </ul> <p><b>(2) 組織と配列に関するここと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○計算、図形などでの項目分けではなく、子供が数量を把握しやすい順に配列されていることで、苦手な分野にとらわれずに子供が自分の成長を自覚でき、数量の学習をもっと深めようとする意識を育めるようになっている。</li> <li>○一つの内容について見開き一枚でまとめられているので、内容が把握しやすく、分量も適当である。</li> <li>○教材の前半に足し算と引き算・図形について、後半にかけ算や割り算についての内容が配列されており、児童生徒の理解度に合わせて活用することができる。</li> <li>○終末のクイズで本書の内容を振り返ることができるようになっている。</li> </ul> <p><b>(3) 学習と指導に関するここと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○操作しながら学習を進められるので、教具として活用できる。</li> <li>○図形はすべて太い黒の線で縁取られているため、形を比べたり、特徴を見つけたりしやすくなっている。</li> <li>○1ページあたりの問題数が6問程度に抑えられており、負担感が少なく安心して学習に取り組むことができる。</li> <li>○シンプルかつ様々な色のイラストと、動かす・開ける・組み立てるといった操作によって興味・関心を高められるよう工夫されている。</li> <li>○発問が端的に疑問形で書かれており、計算については○の数で考える形式で統一され、テンポ良く授業を展開することができる。</li> <li>○チャレンジクイズを使って、そのページで学習したことを問題で活用する力を身につけることができる。</li> </ul> <p><b>(4) 表現と体裁等に関するここと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○すべてのページではっきりと色分けされていることで、数量や形を区別して捉えやすくなっている。</li> <li>○図形の特徴等を説明する文が短く、話し掛けるような調子で書かれているため、数量の学習に親しみやすくなっている。</li> <li>○紙が厚く作りがしっかりしているため、ページをめくりやすく、仕掛けを繰り返し操作してもすぐに壊れる心配がない。めくり始めの場所はくぼみで示されている。</li> <li>○はっきりとした色でイラストが描かれ、コントラストが強く見やすく工夫されている。</li> <li>○文字やイラストの大きさや配置が適当であり、漢字には全て振り仮名があるので読みやすい。</li> </ul> <p><b>(総評)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○読んだり書いたりといった活動だけではなく、実際に操作し、変形させることを中心とした活動になるため、子供の学びに向かう姿勢を育むことができる内容になっている。</li> <li>○本書を実際に触りながら簡単な計算や図形・立体について楽しみながら学ぶができるようになっている。</li> <li>○シンプルかつ色彩豊かなページ構成と、動かす・開ける・組み立てるといった操作で好奇心を刺激し、問題を解く中で体感的な理解を促す魅力的な教材である。</li> </ul>		
評価					

種目	数 学	書名	ひとりだちするための算数・数学	発行者名	日本教育研究出版
<b>(1) 内容に関すること</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常の学校生活や家庭生活の場が想定された内容である。</li> <li>○おやつを作ったり、買い物や遊園地に出掛けたり、パーティーをしたりするという楽しいイベントの中で、基礎的な計算、時間、金銭、計量などについて繰り返し学ぶことができるような内容になっている。</li> <li>○「時間」「お金」「長さや重さ」などについて、お菓子を作る、時計を読むといった生徒にとって身近な内容を取り上げながら、算数・数学の基礎を学ぶことができる内容となっている。</li> <li>○「スーパーに買い物に行こう」など具体的な場面設定での問題構成がなされ、実生活で役立つような学習内容となっている。</li> </ul>					
<b>(2) 組織と配列に関すること</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「基礎を学ぼう」から「生活シーンで学ぼう」という組立てになっており、基礎的なことを身に付けて、実際の生活場面で生かすという系統ある構成となっている。</li> <li>○内容は生活に必要なものに吟味され、量的に無理のない程度に絞ってある。</li> <li>○教材の前半の「基礎を学ぼう」で4つのテーマについて具体例を挙げながら学習し、後半の「生活シーンで学ぼう」に進む構成となっており、系統的に学ぶことができるようになっている。</li> <li>○それぞれのテーマについて、用語や内容に関する説明、例題・練習問題、チャレンジ問題の構成となっている。</li> </ul>					
<b>(3) 学習と指導に関すること</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○例題の記載から始まり、生徒が例題を見ながら、練習問題やチャレンジ問題に自ら書き込むことによって取り組めるようになっている。</li> <li>○実生活で使える数学に絞ってあるので、場面が想起しやすく、算数・数学の教科の時間だけでなく、「生活単元学習」や「作業学習」でも活用できる。</li> <li>○注意すべきマナーについて、また、不安なときや失敗したときの考え方についても触れられており、数学・算数だけでなく、様々なアプローチからの指導ができる。</li> <li>○問題の解答欄が大きめにとられているため、細かい作業が苦手な生徒でも取り組みやすく工夫されている。</li> <li>○「生活シーンで学ぼう」については、基礎で学んだことを総合的に活用する内容となっており、実際の活動を伴いながら学習する授業展開も可能である。</li> <li>○「学習のまとめ」には、学習した内容に応じて、実際の場面における活用方法や注意点についても触れられており、より生活に密着した指導ができるようになっている。</li> </ul>					
<b>(4) 表現と体裁等に関すること</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○色彩を押さえたシンプルなイラストが用いられている。</li> <li>○全ての漢字にはふりがなが振られてある。</li> <li>○シンプルだが書体の大きさや色で重要事項が分かりやすいように工夫されている。</li> <li>○問題ごとに関連するイラストが配置され、場面が想像しやすいよう工夫されている。</li> <li>○文字は大きめでフォントが統一されており、行間が適度にとられているので読みやすい。また、漢字には全て振り仮名がある。</li> <li>○ページは基本的に黒・白・赤の濃淡で表現され、大事なポイントが分かりやすくなっている。</li> </ul>					
<b>(総評)</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○体験的な活動を取り入れながら、自立するために必要な事柄を総合的に学習することができる内容になっている。</li> <li>○生徒にとって身近な題材が取り上げられ、算数や数学だけでなく生活単元学習や作業学習とつなげて活用することができる内容となっている。</li> <li>○学習した内容が日常の学校生活や家庭生活において活用しやすく、生活の中で繰り返し指導していくのに適した教材である。</li> </ul>					

種目	外国語	書名	新レインボー はじめて英語辞典	発行者名	学研
<b>(1) 内容に関するこ</b>					
<p>○生徒にとって身近で、日常生活においてよく使われる言葉が扱われており、興味を引くイラストや例文と共に紹介されている。</p> <p>○辞典の基本的な構造を覚えながら、英語について疑問に思ったことを調べたいという気持ちに応える内容になっている。</p> <p>○絵辞典があり、英単語への関心を高めることができる。</p> <p>○英和辞典、和英辞典共に、生徒が身近に感じられる単語が精選されて載せられている。</p>					
<b>(2) 組織と配列に関するこ</b>					
<p>○「絵辞典」「英和辞典」「和英辞典」で構成されている。「絵辞典」には場面が想定できるような工夫がある。「英和辞典」はアルファベット順、「和英辞書」は五十音順になっており、情報量は無理のない程度に絞ってある。</p> <p>○始めに絵辞典があることで、英単語への関心を高めやすくなっている。</p> <p>○巻末の索引が大きめのフォントなので、扱いやすい。</p>					
<b>(3) 学習と指導に関するこ</b>					
<p>○英語には発音記号とふりがながあり、漢字にもふりがなが振られ、英語学習の入門段階であったり、漢字が苦手であったりする生徒でも「読めた」と実感できるようになっている。</p> <p>○中学校の初級段階のレベルまで幅広く使用できるものとなっている。</p> <p>○「和英辞典」においては、児童・生徒が日常的に使用する言い回しでも検索できるようになっている。</p> <p>○全ての単語、例文を音声化したCD-ROMが付属されている。聞きたい単語を探すのに時間を要すると考えられるので、生徒・児童が自分で操作できるようなものであるとより好ましい。</p> <p>○イラストが親しみやすさを感じさせ、辞典の活用への関心を高めることができる。</p> <p>○文字が大きくオールカラーで見やすい辞典だが、一般的な英和辞典、和英辞典と同じ使い方なので、この辞典から一般的な辞典の使用へ発展させることができる。</p>					
<b>(4) 表現と体裁等に関するこ</b>					
<p>○オールカラーで豊かな色彩が使われ、「つめ」にも色や字体を変えるなどの工夫が施されている。</p> <p>○イラストは分かりやすいものであり、生徒の興味をひくものとなっている。</p> <p>○アルファベットの文字が大きく分かりやすいが、UD教科書体などフォントであることが望ましい。</p> <p>○1ページあたりに扱う単語が少なく、文字が太く大きく見やすい。紙も厚めで、めくりやすい辞典になっている。</p> <p>○すべての漢字には平仮名でルビが付き、すべての英文には片仮名でルビが付いており、読みやすくなるように配慮されている。</p>					
<b>(総評)</b>					
<p>○タイトル通り、はじめての英語辞典として十分な機能を備えている。児童・生徒が日常生活の中で見付けた英語を調べたり、英語で何と言うのか疑問に感じたことを調べたりして、英語に触れるところから始めることができる。そして、自分の思いを英文で表現できるように発展した学習ができるような辞典であると言える。</p> <p>○書名の通り、初めて英語の辞典を使う子供が、興味・関心を持ちながら使用できるような工夫がなされている。さらに、CD-ROMが付いて、正しい発音からも、子供の外国語への関心を高めることができるようになっている。</p>					